

## 平成28年度 行政評価事業別シート

	<input checked="" type="checkbox"/> 実計対象	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	村石 孝子
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	246-2104
事務事業名	4277 学校給食センター施設整備事業						
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課						
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100704 教育費・保健体育費・学校給食費					
	事業	030000 学校給食センター施設整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
安全な給食を提供するため、施設・機械器具等の整備を計画的に行う。				現在の衛生基準にあった備品を、新たなセンターでも使用可能なものを中心に更新する。 昭和51年建設の給食センターを、現在の衛生基準に則した新しい施設に建替える。			

### PLAN-DO

#### 年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
新センター建設候補地の地形測量とボーリング調査1箇所実施。 ボイラー貯湯槽の修繕、備品購入（コンテナ1台、パンラック等）を実施。	新センター建設に向けPFIの可能性調査を予定。候補地の測量・地質調査を予定。用地の購入・立木等の補償を予定。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	新センター建設進捗状況				
算式	新センター建設費用÷全体建設費用×100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	5.2			
	実績				
指標選定の理由	実施計画時の金額で進捗状況を算出（H27年度実施計画事業別シートより・H28～30の計画査定額 1,900,003千円・H28計画査定額 100,003円）				
最終年度目標の根拠	新センターの竣工年度を100%とする				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		11,780	64,100
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	51,315
一般財源		11,780	12,785
人員数(人)	正規職員	0.3	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,162.4	2,162.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,162.4	2,162.4
市民一人当たりの経費		0.3	1.3
総額		13,942.4	66,262.4

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	7,452	修繕料ほか
13節 委託費	2,379	調査委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,949	備品購入費ほか

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	7,000	測量調査、地質調査
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	57,100	団地購入費ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	現センターの老朽化に伴い新センターの建設が求められている	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	現センターの老朽化に伴い新センター建設以外の手法はない	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	これから効率性を求めていく	

振り返り（決算年度の取組み課題）
事業実施に向け準備

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

最も有効かつ効率的な建設手法を探る。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

新施設の建設に向けて、より良い施設整備となるよう十分に検討しながら事業を遂行する。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--